

大乗会通信

発行 南富良野町字幾寅528番2
社会福祉法人南富良野大乗会
印刷所 こざくら園印刷科

2011年の新年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご健勝で新年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

日ごろより、当法人の各種事業に対しましては、特段なるご指導、ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

お陰をもちまして、当法人が経営する障がい者支援施設「からまつ園」、「こざくら園」、「なんぷい〜香房」、「グループホーム・ケアホーム」及び老人福祉施設「ふくしあ」、「一味園」等のご利用者・職員は、清新な2011年の新年を迎えることができました。これも偏に、皆様の温かいご支援・ご厚情の賜物と心よりお礼申し上げます。

昨年、当法人は設立満30年を迎えました。顧みますと時代のニーズにおいて、平成12年の社会福祉基礎構造改革により社会福祉事業法、知的障がい者福祉法など関係各法の改正がなされ、介護保険制度や障害者自立支援法等の制定により、従前の福祉サービスが「措置から契約」、「サービスの選択と対等な関係」、「多様な福祉需要への対応」へと大きく制度変革が行われました。この様な福祉施策の過渡期の中で、当法人の各種事業が計画的且つ円滑に推進できましたことは、昭和55年11月、法人設立以来、ご利用者はもとより、地域住民の皆様や関係機関などの多くの方々に長きにわたり支えられてきたことを役職員一同感謝いたす次第であります。

国内外の経済情勢が依然と厳しい状況にある中、昨年新政権が発足し、強い経済、強い財政、強い社会保障を主張され国民は大きな期待をしています。しかし、今後急速に少子高齢化が進む中においては、社会保障に必要とされる福祉・医療・年金などの財源を安定的に確保することが喫緊の課題であります。国政においては財政再建等による経済成長を優先的に取り組んでいただき、福祉サービスを必要とする方に必要なサービスを提供できる社会保障制度の実現を強く求めるものであります。

今後とも、当法人創立当初の福祉の原点を常に見据え、法人理念に基づくご利用者の希望・自立・幸せのため、更なる、ご利用者の尊厳を守り、より安全で安心なサービスを提供できるよう、役職員一同頑張っまいますので、引き続きご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

新しい春
まっさらな春
一歩を踏み出す



理事長	鷹 嘴 充 子		
理事	岩 永 廣一郎	秋 元 忠	
	大 宮 光 明	山 上 隆 裕	
常務理事	石 井 健 治		
監 事	河 原 澄 和	山 西 春 美	

《グループホームの建設工事が始まりました》

この度、平成22年度社会福祉施設整備事業の補助決定を受けてグループホーム「あおば」の建設を行っています。
「あおば」の施設整備によって、知的障がい者の地域生活者は、35名となり、グループホームの運営は7ヶ所になります。

◆事業の主な概要

所在地	南富良野町字幾寅698番地 [幾寅駐在所跡地]	
施設名称	共同生活介護・共同生活援助「あおば」	
設備	個室(6室)、居間、台所、洗面所、浴室等(オール電化住宅)	
構造	木造平屋建て 181.44㎡(54.9坪)	
建設費	総事業費	31,774,750円
	〔北海道補助金	18,700,000円〕
	〔自己資金	13,074,750円〕
工期	着工 平成22年10月11日 完了 平成23年2月21日	
内容	知的障がい者グループホーム(定員:男性6名)	

《JKAの助成で福祉車輻を配置しました》

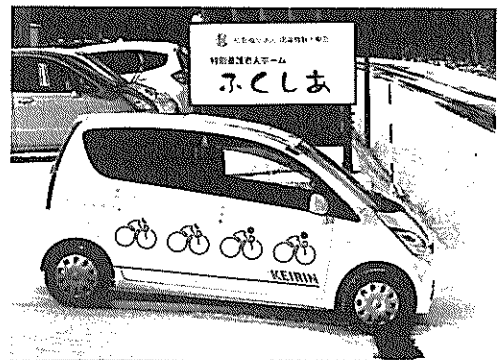
特別養護老人ホーム「ふくしあ」では、財団法人JKAより助成を受けまして11月29日に福祉車輻が納車されました。

○ダイハツムーブ

- ・事業費 1,583,000円
- (財JKA助成金 900,000円)

ご利用者の外出や通院の送迎などに活用することで個別ケアの充実、地域福祉の一層の向上に努めていきます。

※JKAは、競輪とオートレースの振興法人です。



《障がい者週間記念事業を実施しました》

障がい者週間とは、国民の間に広く障がい者の福祉について関心と理解を深めていただくとともに、障がい者が社会・経済・文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的とし、毎年12月3日からの1週間を障がい者週間として定めています。

当法人では、12月6日に記念事業として南富良野町商工会会長曾慶一介さんに一日総合施設長に就任いただきました。ご利用者の生活状況や職場実習先であります各事業所に表敬訪問をしていただきました。

また、12月4日に開催された南富良野町社会福祉大会の共催として参加協力をいたしました。